

2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた
「仙台市文化プログラム」の企画提案を募集します

2018年度 仙台市文化プログラム企画提案

募集要項

2018年度以降に仙台市が実施する「文化プログラム」の企画提案を募集し、複数年にわたる提案者との協働により、事業の推進を図ります。

テーマ

- A. 震災や復興を主題にした文化プログラム
- B. 障害のある人たちの文化芸術活動を支援・推進する文化プログラム

申請の受付

- 1 期 間 2018年3月9日(金)～16日(金) ※土日も受け付けます。
- 2 時 間 持参の場合…9時30分から18時00分まで。
郵便・宅配便の場合…3月16日(金)必着。
Eメール…終日受け付けます。
- 3 応募方法 Eメール・郵便・宅配便・持参のいずれか
- 4 提出書類 募集要項をよくお読みの上、提案書(様式1～3)に必要事項を記入し、参考資料があれば添付してください。申請書は当財団ホームページでもダウンロードが可能です。申請書の必要事項は、全て申請書内に簡潔に記入してください(“別紙参照”不可)。

提出先・お問い合わせ先

事務局：公益財団法人仙台市市民文化事業団 総務課企画調整係

〒981-0904 仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5 日立システムズホール仙台(仙台市青年文化センター)1階事務室
[電話] 022-727-1875 (平日9時30分から17時00分) [Eメールアドレス] sbj@bunka.city.sendai.jp

1 実施目的

仙台市では、東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機として、地域の文化芸術分野における多様な資源を生かした文化事業を推進し、新たな成果を生み出すこと、そしてその取り組みや成果が一過性にとどまることなく、2020年以降も継続的に波及効果をもたらすことを目指します。

2 対象期間

協定締結日（4月下旬以降）から2019年3月末まで

なお、本事業は2020年度末まで継続する見通しです。企画提案は2019年度以降も継続することを考慮して採用しますが、継続の可否については、年度ごとに開催する審査委員会において正式に決まります。

※「11 事業の進め方」もご覧ください

3 テーマ

次のどちらかのテーマに対応した文化事業を提案してください。

A. 震災や復興を主題にした文化プログラム

2021年3月には、東日本大震災から10年目を迎えることをうけ、震災やそれからの復興等を主題にした文化活動や芸術創造などを行うもの

B. 障害のある人たちの文化芸術活動を支援・推進する文化プログラム

2020年東京パラリンピックを見据え、障害のある人の主体的な文化芸術活動の支援や、障害のある人たちとともに文化芸術創造などを行うもの

4 募集内容

以下の要件を満たすこと。

- ・提案者自らが、2018年度から2020年度まで実施主体となって関わること
- ・新規事業であること、もしくは、既存事業をもとに新たな展開を行うもの
- ・仙台市域の文化活動状況や地域・社会の課題を具体的に見据えて実施する独創的な文化事業
- ・事業が終了した後も一過性にならず、自立的な継続や発展が期待できる事業

5 応募資格

仙台市内に拠点を置く団体（法人格の有無は問いません）、または個人事業主。

※1提案者につき1件の応募とします

6 選定件数

1テーマにつき1件程度を予定しています。

7 負担金

2018年度中の事業実施にかかる経費（提案書様式2を参照）の一部を公益財団法人仙台市市民文化事業団が負担します。負担金は収支差額の範囲内とし、30万円～280万円とします。また、負担金額は各年度予算状況等によって変わる場合があります。

8 他団体の助成金

他団体の助成金や協賛金等などの外部資金を獲得することも可能です。

9 応募からの流れ

募集締切:2018年3月16日（金）必着

応募方法については「12 応募方法」をご覧ください

↓

一次審査（書類選考）

2018年3月下旬予定、結果は4月上旬に通知します

↓

最終審査（一次審査通過者によるプレゼンテーション）

2018年4月15日（日）予定、結果は4月下旬に通知します

10 審査の視点

①実現可能性 …実施のための適切な企画や実施体制となっているか

②テーマとの整合性 …市の「文化プログラム」として実施するのにふさわしいか、また、新規性があるか

③文化事業としての手法・プロセス …有効な事業プロセスや人選などが提案されているか

④文化事業としての質 …文化的に質の高い成果が新たに期待できるか

⑤人材育成・ネットワーク形成 …文化の担い手育成・ネットワーク形成に寄与するか

⑥波及効果 …実施後、広く社会的な影響が中長期的・持続的に期待できるか

11 事業の進め方

審査では提案された事業に対して、企画内容の一部を選定すること（部分選定）や、一定の事項を満たすことを条件に選定すること（条件付き選定）があります。事業の実施にあたっては、審査内容を受けて事務局と協議を行い、事業内容や人選などを調整した上で実施計画書を作成していただき、共催協定を締結します。事業開始後も事務局との打ち合わせを重ねながら進めていきます。

12 応募方法

Eメール・郵便・宅配便・持参のいずれかの方法により、提案書（様式1～3）を下記事務局まで提出してください（到着確認はお電話にてお問い合わせください）。提案書の様式は下記事務局ホームページからダウンロードしていただくか、お電話にてご請求ください。参考資料の添付は可能です。

提出期間：2018年3月9日（金）～3月16日（金）必着

持参の場合は9時30分から18時00分まで

13 募集説明会

仙台市文化プログラム及び本募集に関する概要説明・質疑応答を行います。申請される方は説明会に可能な限りご参加ください。

日にち	時間	会場
2月26日(月)	19時00分～20時00分	せんだいメディアテーク 7階会議室 (仙台市青葉区春日町 2-1)

※説明会にご参加される際は、前日までにEメールか電話にて事務局までお申し込みください。

その際は、お名前、団体名、連絡先、参加者人数をお知らせください。

※説明会にご参加が難しい方や、企画提案等に関して個別相談を希望される方は、希望日時・相談内容・連絡先等をEメールか電話にて事務局までご連絡ください。

14 提出先・お問い合わせ先

事務局：公益財団法人仙台市市民文化事業団 総務課企画調整係

〒981-0904 仙台市青葉区旭ヶ丘 3-27-5

日立システムズホール仙台（仙台市青年文化センター）1階事務室

〔電話〕022-727-1875（平日9時30分から17時00分）

〔Eメールアドレス〕sbj@bunka.city.sendai.jp

〔ホームページ〕<http://www.bunka.city.sendai.jp/>

オリンピック・パラリンピック文化プログラムとは

オリンピック及びパラリンピックはスポーツだけの祭典ではありません。スポーツと文化・教育を融合させることがオリンピックの基本的な理念であり、オリンピック憲章には大会開催都市が競技大会と併せて「文化プログラム」を実施するよう定められています。

2012年のロンドンオリンピック・パラリンピックでは、開催都市のロンドンのみならず、英国全土で大小約18万件もの文化的イベントが開催され、外国人も含めて延べ約4,300万人が参加するなど、交流人口の拡大に寄与しました。またロンドン市民・英国国民があらためて自国や地域をテーマにした文化イベントに接したことで、身近な文化に誇りを持つことができたこと、その実施においては特に若者や障害者にチャンスを提供したこと、そしてオリンピック終了後も半数のプログラムが継続されていることなど、さまざまな成果をあげたといわれています。

2020年に東京で開かれるオリンピック・パラリンピックにおいても、現在日本全国で「文化プログラム」の取り組みが進んでおります。